

報道関係者各位

TVISION INSIGHTS株式会社

自動車業界のCMランキング（2021年7月クール） 13社中、個人全体・自動車購入意向者の1位はともに SUBARU

ご家庭に人体認識技術を搭載した機器を設置し、テレビの「視られている量」を測る TVISION INSIGHTS株式会社（所在地：東京都千代田区、代表取締役社長 郡谷 康士、以下 TVISION）は、2021年6月28日から10月3日、すなわち2021年7月クールに放映されたテレビCMから、TVISION独自の指標「アテンション含有率」での自動車カテゴリーのランキングを集計いたしました。

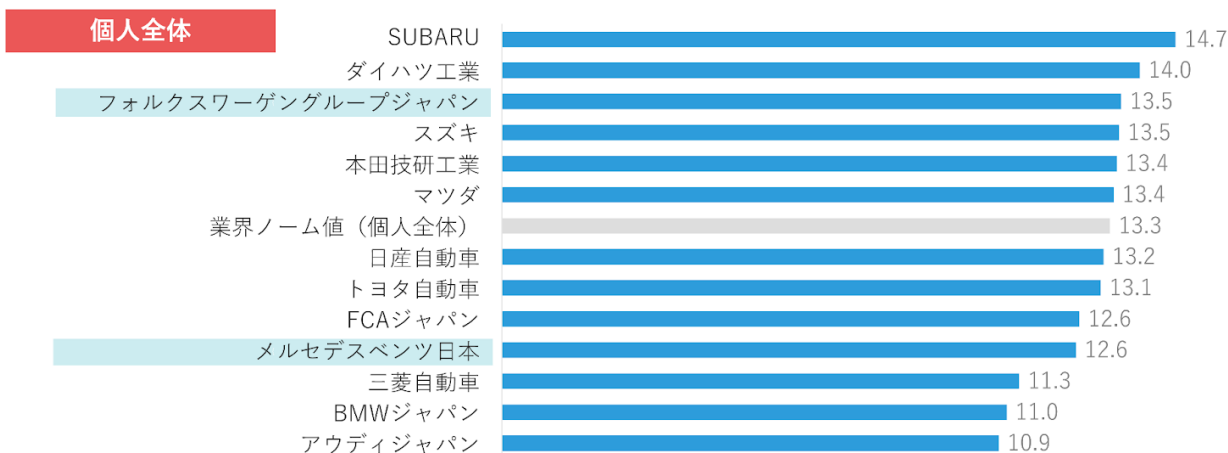
※アテンション含有率：視聴者のうちの、テレビ画面注視者の割合をさします。
テレビが点いているときに、視聴者がどれくらい注目しているかを表します。

【個人全体】テレビCM アテンション含有率ランキング

自動車カテゴリー テレビCM企業別アテンション含有率ランキング

集計期間：2021年6月28日～2021年10月3日

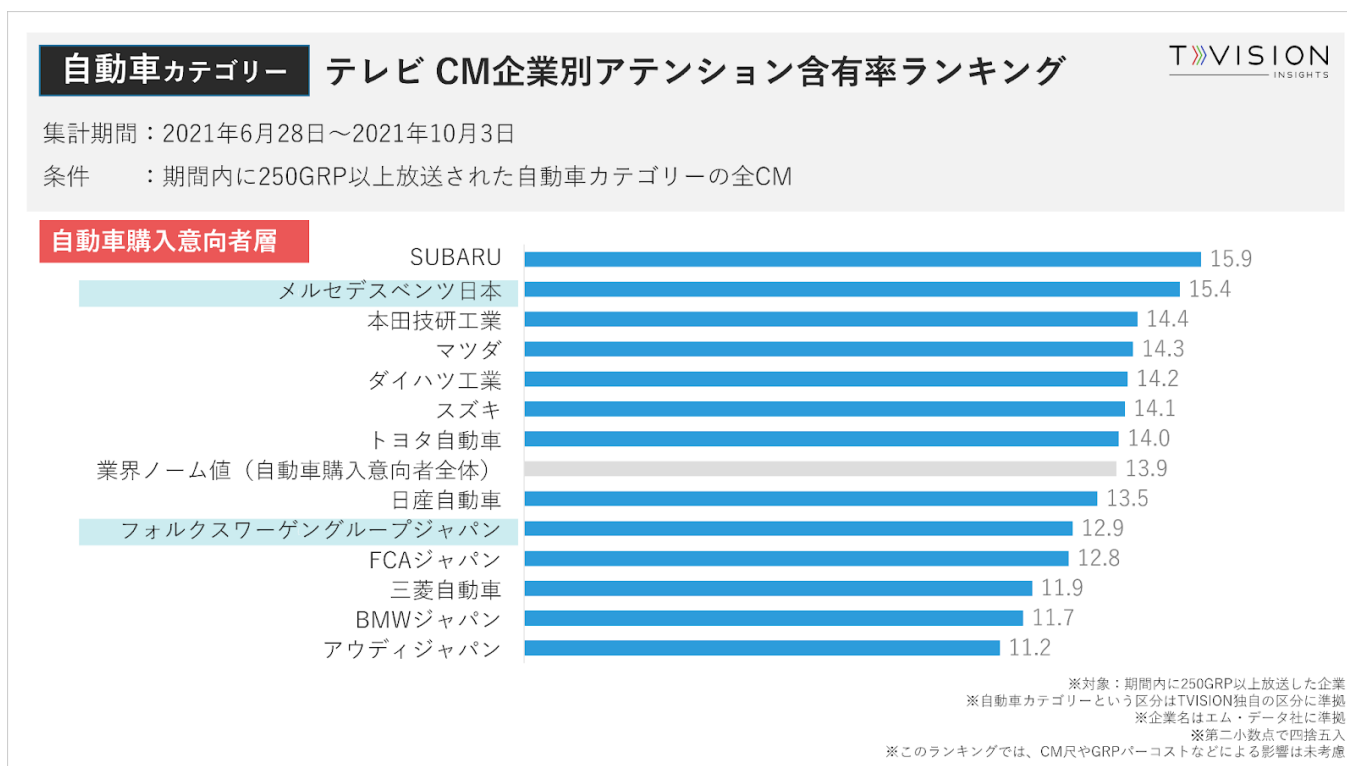
条件：期間内に250GRP以上放送された自動車カテゴリーの全CM



※対象：期間内に250GRP以上放送した企業
※自動車カテゴリーという区分はTVISION独自の区分に準拠
※企業名はエム・データ社に準拠
※第二小数点で四捨五入
※このランキングでは、CM尺やGRPパーコストなどによる影響は未考慮

13社中個人全体の1位は『SUBARU』、2位は『ダイハツ工業』、3位は『フォルクスワーゲングループジャパン』でした。1位の『SUBARU』は、個人全体の平均値（図中：グレーの棒グラフが業界ノーム値）と比較しても、視聴者によく注目されていたことがわかります。図中で青いラインが引いてある企業は、後述する「自動車購入意向者層」でのランキングと大きく順位が違う企業です。個人全体では3位だった『フォルクスワーゲングループジャパン』のCMは、自動車購入意向者層では9位となりました。

【自動車購入意向者層】テレビCM アテンション含有率ランキング



このランキングは、TVISIONが定期的実施している、調査パネルへのアンケートにて「自動車購入の意思がある」と答えた方（自動車購入意向者）のランキングです。

個人全体と比べると、全体的にアテンション含有率がわずかに高くなっており、自動車購入意向者の方が自動車のCMをよく見ているといえます。

個人全体と同様、1位は『SUBARU』となりました。2位は『メルセデスベンツ日本』、3位は『本田技研工業』がランクインしました。2位の『メルセデスベンツ日本』は、個人全体では10位となり、自動車購入意向者との違いが見られました。

<本件に関する問い合わせ先>

TVISION INSIGHTS株式会社 広報担当 佐野、峯島
東京都千代田区大手町1丁目6番1号大手町ビル6階

E-mail info@tvisioninsights.com

Tel (担当直通) 050-5472-8861

【TVISION INSIGHTS株式会社について】

TVISION INSIGHTS株式会社は人体認識技術によってテレビ番組・CMの視聴態勢データを取得し、BtoB向け視聴分析サービスを提供しています。

ご家庭のテレビに、TVISIONが独自に開発した人体認識技術を搭載した調査機器を設置し、調査参加者の視聴態勢を毎秒で自動的に取得。「誰がテレビの前において、ちゃんと見ているか」というTVISION独自のアテンションデータを広告主・広告会社・放送局など国内累計100社以上のクライアントにご活用いただいています。現在、国内では関東エリアの1,000世帯・関西エリア600世帯、地上波/MX/BSの全番組を計測しています。TVISIONでは「新しいデータによってメディアマーケットを圧倒的に進化させる」というミッションのもと、テレビの価値をアテンションデータによって顕在化しています。